

第34回全道自治体職員等女子バレーボール選手権 全道優勝大会 in帯広

大会速報



第3号 2012. 7. 14 発行:帯広市役所労働組合連合会 フードバレーとたち

帯広市開拓130年、市制施行80年記念後援事業

予選 C-2		
別海町職	2	0
	$\begin{pmatrix} 21 - 13 \\ 21 - 12 \end{pmatrix}$	上川町職労



主将 柳澤選手をはじめ攻撃力が優る別海町職がストレート勝ち！！

予選 A-3		
東川町職	0	2
	$\begin{pmatrix} 14 - 21 \\ 17 - 21 \end{pmatrix}$	深川市職労

第1セット 東川町は9番近藤の2連続サービスエースから得点、9番を中心とした攻撃を展開した。深川は1番野村と10番秦の2選手が攻撃の基本となり双方、中盤を一步も譲らず取っては取り返す展開だったが、14点目から深川の4連続ポイントで差を広げそのまま逃げ切った。

第2セット 5点目までは双方譲らず深川の4連続ポイントのあとすぐ東川が追いつく展開。しかし2枚看板の深川が左右からの攻撃を仕掛け、6連続ポイントで差を広げ、徐々に引き離れた。東川は9番近藤に球を集めたがあと一步及ばなかった。



予選 B-3		
帯広市労連	2	0
	$\begin{pmatrix} 21 - 11 \\ 21 - 13 \end{pmatrix}$	北見市労連

第1セット 帯広市労連は9番河瀬、8番柚原のスパイクなどで得点を重ねる。12対3とするところから北見10番高富のブロックや3番佐賀のスパイクにより16対6まで盛り返すも自力で勝る帯広が21対11で取る。

第2セットになっても帯広の勢いは止まらずA・Cクイックを交えた多彩な攻撃により得点を重ね最後は帯広2番主将鳴海のスパイクが決まり決勝トーナメント進出を決めた。



予選 C-3			
置戸町職	2	0	上川町職労
	$\begin{pmatrix} 21 - 6 \\ 21 - 13 \end{pmatrix}$		



両チームの力が均衡した試合であった。

置戸の1番尾崎が大きな掛け声でチームを引き締め、10番道原、8番早坂の2枚看板がアタックを量産する。上川も4番川村の強烈なサーブや6番桜田のファインプレーも飛び出す。置戸の守備が堅く置戸が見事に勝利する。

予選 B-4			
旭川市職労	0	2	北見市職労
	$\begin{pmatrix} 7 - 21 \\ 18 - 21 \end{pmatrix}$		



第1セットは旭川市職労のミスが目立ち、一方的な展開となった。第2セットは中盤までもつれ、一時旭川市職労がリードしていたが終盤、北見市職労エース3番佐賀のアタックやサービスエースで逆転勝利する。

予選 C-4			
名寄市職労	1	2	美唄市職労
	$\begin{pmatrix} 19 - 21 \\ 23 - 21 \\ 15 - 21 \end{pmatrix}$		



第1セット 中盤まで均衡を保っていたが、美唄の4連続得点。名寄も3連続得点。7番角田、11番田中のアタックで追いつけるも届かなかった。

第2セット 両者本日2試合目により多少の疲れも目立ったが互いにリズムを取り戻しながらの展開となった。試合を有利に運んだのは美唄であったが、中盤に相手のミスを誘って連続ポイントの後、デウスに持ち込み名寄が競り勝った。最終セット、前半はどちらも譲らずエースの打ち合う展開だったが中盤7連続得点で名寄を引き離れた美唄が更に点差を広げ逃げ切った。なかでも3番安成のサービスエースとアタックでの貢献は大きかった。